

やっぱり、男に!
この界!

前 経済産業大臣

さいとう健プロフィール

昭和34年生まれ。町中の小さな写真屋を営む両親のもとで生まれ育つ。当時、父方の実家が印旛郡にあり、よく釣りなどをして遊んだ。

大学時代は、東大ハンドボール部主将として活躍。

卒業後、通商産業省（現・経済産業省）に入る。在任中ハーバード大学大学院へ留学。大臣秘書官も務める。

平成16年、上田知事の要請により、埼玉県副知事に就任。

平成18年、衆議院千葉県第七選挙区の自民党候補の公募に応じ、221名の中から選ばれ立候補するも、わずか955票差で惜敗。

平成21年、初当選。当選5回にして、農林水産大臣、法務大臣、経済産業大臣を経験。

【趣味】

読書、映画、カラオケ

【好きな食べ物】

焼肉、ご当地ラーメン



ホームページ

政治は言葉じゃない。実行だ!!

これをやりたい

さいとう健は、

これをやった

① 経済再生

30年ぶりの賃上げ・設備投資の好環境を、何としても継続させ、日本経済に勢いを取り戻したい！半導体やGXなどに世界で戦える力を！

② 自分の将来が見える年金・医療制度

将来いくら年金を受け取れるのか、病気の時きどうなるのか、あらゆる世代に対してはつきりさせる、わかりやすく見通しの利く制度を実現したい！

③ 女性活躍・子育て

国力の危機という認識のもとで少子化対策を抜本的に強化したい！ひきこもりを社会全体の課題としてとらえるための法的整備やひとり親家庭などへの具体的な支援を充実させたい！企業経営における女性活躍の機会を増やしたい！

④ 祖国と領土を守りたい

祖国の運命を他国の善意に全てゆだねることのない日本を実現したい！

⑤ 地元の発展

TX線8両化と東京駅延伸、野田市と東京の直結鉄道を実現したい！新鮮で安全な農作物を自宅の近くで作る都市近郊農業を振興したい！

⑥ シン・自民党へ

政治とカネの問題を決着させ、世代交代が進むこの時期に、しがらみと決別し、党利党略ではなく国益最優先で行動するシン・自民党を作り上げたい！

1期目 野党時代

- ①東日本大震災復興基本法案を議員立法し、成立させる。
- ②ホットスポットの除染範囲の拡大を国に求め、放射性焼却灰の処理を、自治体ではなく国に行わせる。
- ③正論直球勝負の国会質問がネットで話題に。

2期目 与党にかえり咲いて

- ①直ちに環境大臣政務官に。ドイツでの国際会議では、ジョークをまじえながら、各国大臣と渡り合う。
- ②その後、党の農林政策の責任者である農林部会長に就任。
- ③40年ぶりに米の生産調整の見直しを決める。
- ④60年ぶりの農協改革を断行し、TPP交渉では、き然とした対応を貫く。

3期目 ついに大臣に

- ①農林水産副大臣として、50年ぶりの酪農改革等農政改革の仕上げに奔走。
- ②難航したヨーロッパとの経済連携協定交渉で陣頭指揮をとり、国内農業を守りながら、決裂を回避。
- ③前例のない当選3回での農林水産大臣に就任。

4期目 引き続き農林水産大臣に

- ①大臣として、70年ぶりの水産改革・70年ぶりの林業改革を実現。
- ②学童保育・放課後児童クラブの拡充、負担軽減や学習も補う環境整備に注力。
- ③スポーツ振興投票法を議員立法で改正し、体育館などの整備予算を確保。

5期目 法務大臣、経済産業大臣に

- ①法務大臣として、外国人問題や社会・家族のあり方に関する法整備に注力。
- ②かつて勤務していた経済産業省に大臣として戻り、賃上げや設備投資促進などデフレからの脱却に全力投入。



自民党公認

さいとう健

けん

比例区は自民党または公明党へ